

令和4年度

北日本医療福祉専門学校  
自己評価委員会報告書

令和4年度 自己評価の公表について

北日本医療福祉専門学校の自己評価結果を公表します。

令和5年3月31日

北日本医療福祉専門学校

校長 奈良 憲光

# 自己評価

## 1 教育理念

- ・「人格の完成」、「心身ともに健康な国民の育成」とともに職業人としての専門的知識とともに職業人としての専門的知識と技能を修得させ、国家、社会に寄与できる人材の育成を図る。
- ・わが国の伝統と文化を尊重し、国土を愛し、国際社会の平和と発展に寄与できる人材の育成を図る。

## 2 教育目的

- ・本校は、職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、教養の向上と人格の陶冶を図り専門知識と技能を有した優秀な人材の育成を目的とする。

## 3. 育成人材像

- ・「社会に寄り添う」をモットーに、心豊かで社会福祉に貢献できる人材を育成します。

### 【介護福祉科】

- ・介護を必要とする人の尊厳を大切にし、自立した日常生活を営むことができるよう、介護現場に必要な「寄り添う心」と最新の知識技術を身に着けた介護福祉士を育成します。

### 【こどもマイスター養成科】

- ・こどもを理解し大切にする姿勢とともに、保護者の子育てを支援できる知識と心を育み、体育や音楽、障がい児教育にも強い保育士・幼稚園教諭を育成します。

### 【薬業科】

- ・健康の増進や疾病の予防を支える人材として、医薬品・健康食品の専門的知識を学び、地域に信頼される医薬品登録販売者、医療事務・調剤事務従事者を育成します。

## 4. 評価項目

4 (適切)、3 (ほぼ適切)、2 (やや不適切)、1 (不適切) (1) 教育理念・目的・人材育成像

評価項目		評価
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)		4
・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。		4
・学校の理念、目的、育成人材、特色、将来構想などが生徒、学生、関係業界、保護者等に周知されているか。		3
実 現 状 況 及 び 課 題	<b>【短期的な課題】</b> ・学校関係者評価委員会において学校の重点目標を見据えた会議を実施する。 <b>【中長期的な課題】</b> ・学校の重点目標の設定は、前年度の自己評価及び学校関係者評価の結果及び評価結果等も生かした重点目標を設定する。社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を検討する必要がある。	
具 体 的 な 改 善 策	・教育理念や目的、育成人材像について、クラス掲示や学生便覧への掲載、入学予定者オリエンテーション、入学時オリエンテーション、進級時校長代理講話などで周知した。また、ホームページや学校案内にも掲載し、周知した。	

### (2) 学校運営

評価項目		評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。		4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。		4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。		3
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか。		3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。		3
実 現 状 況 及 び 課 題	<b>【短期的な課題】</b> ・教育活動に関する情報公開を行う。 <b>【中長期的な課題】</b> ・年2回、教育活動に関する情報を公開する。	
具 体 的 な 改 善 策	・介護福祉科、こどもマイスター養成科、薬業科の授業風景や生活の様子、学校行事等について SNS での情報発信を継続している。	

### (3) 教育活動

評価項目		評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか。		4

・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか。	3
・関連分野の企業、関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか。	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置付けられているか。	4
・授業評価の実施、評価体制はあるか。	4
・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4
・成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確になっているか。	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務を含め）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3
・関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3
実現状況及び課題	<p>【短期的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバス（授業概要）の内容の見直しを行う。</li> <li>・「学校運営・教育マネジメント等に関する専門的能力の修得・向上」するための研修へ参加する。</li> </ul> <p>【中長期的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科目の意義や内容等を周知するためにシラバス（授業概要）を、学生、教員、講師等へ周知する。</li> <li>・「専攻分野における実務に関する知識・技術・技能の修得・向上」、「授業及び学生に対する指導力等の修得・向上」及び「学校運営・教育マネジメント等に関する専門的能力の修得・向上」の3分類の教員研修へ参加する。</li> </ul>
具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム、シラバス及び学生便覧を活用し、入学生へ説明した。学習の支援が必要な学生に対し、学科内で情報を共有し、統一した指導を行っている。また、今年度より薬業科において、登録販売者試験・医療事務試験の合格率向上に特化したカリキュラム変更を行った。こどもマイスター養成科においても通信教育の科目変更に伴い、カリキュラム変更を行った。</li> <li>・授業評価において評価の低かった私語・居眠りへの指導は全教員が徹底して取り組み、改善している。非常勤講師の授業改善については、教員と非常勤講師の授業内容が重複しないよう、事前に打ち合わせを行い、授業を展開していくこととした。</li> <li>・3学科とも実習先施設、実務経験先企業と連携して評価を行い、学生の知識・技術の向上に努めている。また、事前に指導者へ指導要綱を送付し、指導者に周知した。</li> <li>・介護福祉科については、新しく入った教員1名がオンラインでの介護教員研修会に参加している。また高齢者アクティビティ開発センター主催のオンラインセミナーに教員1名が参加し、アクティビティインストラクターの資格を取得した。こどもマイスター養成科・薬業科についても各科に合わせた研修会に参加を予定している。また、12月に校内研修会を行う予定である。</li> <li>・昨年度実施した校内研修会アンケートをもとに今後も校内研修会を実施予定である。</li> </ul>

(4) 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか。	4
・資格取得率の向上が図られているか。	3
・退学率の低減化が図られているか。	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3
実現状況	【短期的な課題】

及び課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア支援室と連携を取りながら、就職指導を行い、就職意識を高める。</li> </ul> <b>【中長期的な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職先の開拓を行い、就職率 100%を目指す。</li> <li>・資格取得に向けた指導を行い、合格率 100%を継続する。</li> </ul>
具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度の内定率は、介護福祉科、こどもマイスター養成科、薬業科ともに 100.0%である。介護福祉科・こどもマイスター養成科については、介護実習先・保育実習先や施設見学・園見学をしながら就職希望先を検討していく。薬業科については 2 月に校内企業説明会を行い、4 月より就職活動を開始している。</li> <li>・卒業生・就職先へのアンケートをもとに、授業内容の変更や現場で活用できる陳列授業やラッピング授業などの演習を多く取り入れた。卒業生アンケートについては 7 月、企業アンケートについては 11 月に実施予定である。アンケートでいただいた意見を今後の教育活動に活かしていく。</li> </ul>

(5) 学生支援

	評価項目	評価
	・進路、就職に関する支援体制は整備されているか。	4
	・学生相談に関する体制は整備されているか。	3
	・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4
	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3
	・学生の生活環境への支援は行われているか。	4
	・保護者と適切に連携しているか。	4
	・卒業生への支援体制はあるか。	3
	・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか。	4
実現状況及び課題	<b>【短期的な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア支援室を中心とした就職支援を継続する。</li> </ul> <b>【中長期的な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接や進路相談、就職先の開拓などの就職支援活動を継続して実施する。</li> </ul>	
具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職に関しては、担任、就職担当教員、キャリア支援室と連携をとり、支援している。</li> <li>・学校生活において課題がある学生については保護者とこまめに連絡をとり、必要があれば保護者を含めた面談を行い、学生生活を円滑に過ごすことができるよう支援している。</li> <li>・キャリア教育の一環として、高校生のみならず、小中学生に対しても本校での体験授業、出張授業を通じて職業教育を行っている。</li> </ul>	

(6) 教育環境

	評価項目	評価
	・施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3
	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。	4
	・防災に対する体制は整備されているか。	4
実現状況及び課題	<b>【短期的な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備及び点検を継続して行う。</li> </ul> <b>【中長期的な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい設備を精査し、購入計画に盛り込む。</li> </ul>	
具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備及び点検を実施している。必要物品については、年度予算に計上し、適宜購入していく。</li> <li>・5 月 12 日に避難訓練を行っており、10 月には防災設備の取り扱いに関する訓練と研修を実施する予定である。</li> </ul>	

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
	・学生募集活動は、適正に行われているか。	4
	・学生納付金は妥当なものとなっているか。	4
実現状況及び課題	<b>【短期的な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動を継続する。</li> </ul>	

	<b>【中長期的な課題】</b> ・学校としての取り組みについて広報活動を活発にし、適正な募集活動に努める。
具体的な改善策	・学校案内や学則に則った募集活動を行っている。感染症の状況により、学生募集活動に変更・中止・延期等があり、予定通りの学生募集活動とはなっていない。

(8) 財務

評価項目		評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。		3
・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。		3
・財務について会計監査が適正に行われているか。		4
・財務情報公開の体制整備はできているか。		4
実現状況及び課題	<b>【短期的な課題】</b> ・学生募集活動を継続して行う。 <b>【中長期的な課題】</b> ・入学者数の増加に努める。	
具体的な改善策	・学生が増加するよう積極的に学生募集活動を行うとともに、エアコンや電気をこまめに消す等、節電に努めている。 ・5月に監事監査が実施され、指摘事項はなかった。 ・財務状況に関する情報を7月にホームページ等で掲載する予定である。	

(9) 法令等の遵守

評価項目		評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。		4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。		3
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。		3
実現状況及び課題	<b>【短期的な課題】</b> ・自己点検を継続して実施する。 <b>【中長期的な課題】</b> ・自己点検表の結果をもとに見直しを行う。	
具体的な改善策	・今年度も学校の自己点検を12月に実施する予定である。今後も法令の遵守に努める。 ・学生の個人情報の保護に努めている。また、今後も学生に個人情報等について啓発を続けていく。	

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。		3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。		3
・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。		3
実現状況及び課題	<b>【短期的な課題】</b> ・社会・地域貢献を継続して実施する。 <b>【中長期的な課題】</b> ・社会・地域貢献活動をするための体制を整備する。	
具体的な改善策	・感染症予防の為、ボランティア活動の実績は少ないが、岩手県障がい者スポーツ大会ボランティアへ学生が参加した。また、3月に3学科の男子学生で学校周辺のゴミひろいを実施した。今後も感染状況を見ながら社会貢献・地域貢献を積極的に行っていく。	